

# 家庭教育学級(乳幼児学級)実践事例報告書

別紙様式1



## 体験活動参加型+サロン型

学校名等	親子スマイルアップ プログラム1
実施日時	令和7年7月 計4回実施 10:00~11:30
会場	土岐市文化プラザ 和室
参加人数	26名(乳児とそのお母さん13組)
学習課題(分野)	基本的な生活習慣
運営者の願い	土岐市こども家庭課では親子関係形成支援事業として0歳児とそのお母さんを対象に「親子スマイルアッププログラム1」を実施しています。子育ての基本的「き」を学び合い、話し合うことで心のゆとりと笑顔が増えていくプログラムです。 乳児の子育てに懸命に取り組むお母さんを支える事業です。

### 学習の内容

#### < 全4回の概要 >



会場は和室:畳の上で乳児がくつろげます

- 第1回 「新しい出会いと学び合い」
- 第2回 「子どもの成長にあったおうち遊びと気をつけること」
- 第3回 「私の過ごす一日 ~気づきと工夫~」
- 第4回 「完璧な親はいない ~子育ては一人で出来るものではない~」

#### < 第4回目の様子紹介 >

前半は、「リフレッシュの工夫」について交流しました。子どもが小さいと外に出るのも一苦勞、家にずっといて息が詰まるような気分になることもあります。お互いのリフレッシュ方法を交流することで、共感の輪が広がりました。

後半は、情報提供、修了証授与、ふりかえりの時間でした。こども家庭課からこの続きの事業「スマイルアップ2」等について紹介がありました。また、ママズカフェ理事長から「地域資源の活用のすすめ」等の話がありました。



修了証を手渡している様子

そして、こども家庭課から修了証が手渡されました。参加者の中には、月4回のこのプログラムにちゃんと参加できるか心配された方もみえたようでしたが、主催者側の充実したプログラムと手厚いフォローでやりとげられたようでした。

#### < 参加者の感想 >

- 子どもの月齢が一緒でないと話が合わないのではないかと考えていましたが、共感できることが多くてよかったです。土岐市に永住するつもりなので、保・小・中でお会いしたいと思います。これからもよろしくお願いします!
- 4回の参加は、私にはハードルが高いかと思っていましたが、4回とも来てよかったと思えました。外に出て赤ちゃんとゆったりできる環境はなかなかありません。リフレッシュできました。
- これで終わってしまうのがさみしい、後8回ぐらいはできます。(みなさん<笑>)本やネットで子育ての正解、情報を探すがよくあり、夫に聞いても最後は「ママが決めやー。」「えー。」っていうこともありましたが、ここに来て、同じ悩みをもっている人がいて、お話ができるのが救いになりました。毎週水曜日が楽しみでした。
- 「ときめっく」に行っていたのですが、自分の子どもぐらいの人がいなかったの、今回応募しました。月齢が上のお母さんから子育ての話がきけてとてもよかったです。

#### 親子関係形成支援事業

土岐市こども家庭課が地域のNPO法人「ママズカフェ」に委託して実施している事業です。子育て中のパパ、ママを支援するコーディネーターとして、親子関係をよりよいものにする「学び」の機会を提供してみえます。



#### 家庭の支援は、連携して

第4回目のプログラムには、こども家庭課から保育園の担当者が参加し、これからの園選びの相談に乗れるようになっていました。また、こども家庭センターの保健師の参加もあり、育ちの相談ができる配慮もありました。

進行役のママズカフェのコーディネーターの方が、「こんなときはね・・・」と人と人をつなぐ役割を請け負ってみえました。



#### 温かい「学びの」空間

参加者の「子育て」について学びたいという思いとそれを支え、応えたいというみなさんの思いが温かい雰囲気、関係を醸成していました。「求めて学ぶ」すてきな空間でした。

